

長野県革新懇ニュース

2020年12月号
発行日 12月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 00510-3-15971

259

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

==== 今号の主な記事 ====

- 1面 柳谷知之さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」村山隆さん
- 3面 市民と野党の共闘で、自公勢力を過半数以下へ 山口光昭さん
読者の声、漢字パズル
- 4面 雨よ降れ「余生」と「与生」 窪島誠一郎さん
写真で辿る信州と戦争 青い召集令状(2) 北原高子さん
映画評論『金子文子と朴烈』内山到さん

長野県革新懇

検索



1966年山形市生まれ。1971年より岩手県大船渡市で育つ。1988年東北大学工学部卒。民間会社で働いたのち、2003年日本聖書神学校を卒業。2003年4月より日本キリスト教団長野本郷教会主任牧師、2008年4月より日本キリスト教団松本教会主任牧師。現在に至る。

政教分離の原則を

知事はしっかり理解すべき

柳谷 知之さん

(日本キリスト教団松本教会主任牧師)

知事は護国神社への 関与を止めるべき

Q 阿部知事の護国神社関与問題に関して意見書を出されましたが、その問題意識をお聞かせください。

昨年の8月22日に信濃毎日新聞が、阿部知事が護国神社の崇敬者会の会長として鳥居再建の募金を呼びかけていることを報じました。その当時、問題があるということを感じて、仲間内では抗議文を送ろうという話は出ていました。たとえ私人だとしても、やはり知事という立場の者が特定の宗教を支援する、募金を呼び掛けるということは、その影響力の大きさを考えたら適切だとは到底言えないからです。田中康夫さんを除いて歴

代の長野県知事が皆、同様に護国神社に関わっていたことも明らかにりましたが、こうした対応が慣例的になっていったわけです。だから何も阿部知事だけのことでありません。しかし、そういうことが公になって1年以上経つても、なお考え方を改めていないということはとても残念に思うところです。

それで、今回改めて護国神社と知事の関係が報じられたことから私たちの考えを意見書という形で公表したわけです。丁度その頃に、日本共産党の和田県議さんがこの問題について県議会で質問されていたのですが、知事は答弁で相変わらず、憲法違反だと思わないという姿勢で、有識者の意見を聞くというようなことを言うてはぐらかしていたわけです。結局、何もしてないということなんです。

司法の判断も 視野に入れて対応

Q 今後の取り組みについてはいかがですか？

今回の意見書を出すにあたっては、記事が出てからあまり時間をかけてはいけなという思いがあつたので、数人の方と相談して文章をつくり、後はそれぞれ呼びかけるという形にしました。私の場合は、この教会の信徒さんで、そういうことに興味ある数人の方に賛同を呼びかけただけで、全体に呼びかけたわけではありませんでした。ただ、それが新聞で紹介される中で、「私もおかしいと思う」ということを言うてくださる方もいて、後から「こういうことをやるなら、もっと広く呼びかけて欲しかった」という意見も出されました。



松本市美須々にある長野県護国神社『ウィキペディア (Wikipedia)』より

ただ、私としては、それは次の段階で、たとえば署名活動をするにしても、一宗教の立場だけでなく、広く市民の方々のいろんな意見を集約するような取り組みが必要だと思っています。

知事は有識者の意見を聞いて対応を判断すると言っています。県庁のホームページに最近の会見のやり取りが出ていますが、ある新聞記者がいつまでに有識者の意見を聞くか質問したところ、公務を優先させるためにそういったことはいつとは答えられないという話で、先ほど述べた県議会での質問に対する答弁と同じような回答を相変わらず繰り返しています。結局、何も変わっていないわけです。

こうした状況なので、次はどうしようか考えているところです。例えば公開質問状とかです。新聞のインタビュー

Q 宗教と政治の関係についてはどうお考えですか？

ヨーロッパなどでは結びついていてと思うことがありますが、そういう中でなぜ、日本国憲法で政教分離が強く訴えられているかというと、やはりかつて国家神道の名のもとに戦争が遂行され、国民が強制的に動員された苦い歴史

苦い歴史を踏まえて できた政教分離の原則

で答えた時には、司法に訴えることはしないのかということとを問われたものですから、ずっとなしのつづてで、あまり大きな成果が得られないようであれば、そういうことも視野に入れなければいけないという感じは持っています。